

ニコニコ ハウスだより

Vol. 3

2024 年春号



ニコニコ
職人

暖冬で花が咲くのが早く、春には桜が散ってしまうのではないかと心配しておりましたが、本年もきれいに桜が咲き誇ってくれました。

ニコニコハウス鶴里ではパンや弁当や絞り製品等を製造販売していることはご存じの方が多いと思いますが、それらを作っている所員さんや製造過程等を知らない方もいるかと思えます。今回の春号では、4～5ページでしぼり製品について紹介させていただきます。今後もニコニコハウスだよりを通して所員さんたちの日々の活動を知っていただけるようにしていきたいと考えております。

広報委員会 鈴木

令和6年度を迎えて ～管理者より挨拶～

介護支援センターなごみ 管理者 阿隅貴臣

今年の4月に、国が決めた介護サービスの価格である「介護報酬」が改定されました。

介護を必要とする人の数は2040年あたりまで増加し続けると予想される一方、介護従事者の数は足りていません。必然的に、高齢者が人の手を借りず「自立」することや、身体状態の「重度化を予防」できることが求められます。そして、介護報酬は、それができるサービスに高い価格が配分されます。

健康は皆が望むものであり、それに寄与するサービスを報酬で評価する。それ自体に異論はないのですが、今後、自立度を数値化して管理されるようになると、自立＝善、重度化＝悪という単純化された構図を生み、自立礼賛の風潮が強まるほど、居心地の悪さを感じる高齢者も増えるのだろうなと思ってしまいます。私たちケアマネジャーは、画一的に自立を捉えるのではなく、利用者との対話を通して、一人ひとり違う自立像を見定めることがますます重要になってくるだろうと感じています。

今年もよろしくお願いいたします。

ニコニコデイサービス鶴里 管理者 松浦信太郎

ボランティアさんがきてくれたり、外出活動が行えるようになったりと、昨年度は少しだけ、人とのつながりが戻ってきた一年だったように思います。これからも、できるだけ多くの人とつながり、できるだけ多くの人に必要とされる場所になればいいなと思っております。

ショートステイどんたく 管理者 林田陽平

今年度より、ショートステイどんたくの管理者となりました、林田陽平です。

短期入所事業所の役割は「緊急時の対応」「将来に向けた準備や経験」「自宅から離れた生活を体験する場」としての必要性をとて感じております。こういったご利用者様のご要望に、できる限りお応えできるような事業所を目指していきたいと思っております。地域の皆様の「豊かな暮らし」のお力となれるよう、私も含めスタッフ一同、日々成長していけるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ニコニコハウス鶴里 管理者 石川修平

今年春は暖かくなると当初言われていたのですが、長雨が続き肌寒い感じを受けていますが、いかがお過ごしでしょうか？昨年度はようやくコロナの情勢も落ち着き、外部の販売やボランティアさんの受け入れなどもできるようになりました。

活動としても久しぶりに部署活動として、コンサートやカラオケ、動物園など外出ができ、外で食事をとることができました。やはりいつもと違う活動があると皆さんそこに向けて楽しみな気持ちを整えていく（逆に楽しみが過ぎてしまう方も…）ことができ、「楽しかったね」、「また行きたいね」と目標や前向きになれることがとても大事な事だと再確認できました。

来年度も日頃のお仕事をしっかりとしつつ、楽しみも持ちながら前向きにやっていきたいと思っております。なにとぞよろしくお願いいたします。

令和6年度の相談支援センターなごみは、職員体制が大きく変わります。職員3名のうち、2名が新しい職員になりますので、利用者さんのこと、ご家族のこと、利用されているさまざまな事業所のこと、困りごとや課題などを、正確に引き継いで、相談業務を行っていきます。

相談支援センターなごみの一番の強みは、介護支援センターなごみという、介護保険のケアマネジャーと同じ部屋で、協力して、業務が行える点にあると考えています。実際に、1つの家庭に対して、親御さんの支援を、介護支援センターなごみの職員が担い、子どもにあたる障害のある方の支援を相談支援センターなごみが行っている例が、何件もあります。

毎日の何気ない生活を大切にしながら、将来の生活も視野にいれ、障害のある方がどのように暮らしていきたいか一緒に考える、そんな相談支援を、地道に、着実に行っていきたいです。

ニコニコホームでは、昨年度は観光バスでの日帰り旅行を4年ぶりに再開することができました。コロナ禍の中でも、入居者さんの楽しみをできるだけ考え、小規模でのイベントなどは実施しておりましたが、やはり実際に皆さんで外出するということは、特別な事であると改めて感じました。今年度も旅行等入居者さんに楽しんでいただく機会を大切にしていきたいと思います。

わははの職員体制は大きく変わりませんが、サービス提供責任者3名を中心にヘルパーさんとも連携を取りながら、利用者さんの日々の生活や余暇の支援を充実したものにしていけるよう心掛けていきたいと思っています。

.....

南区障害者基幹相談支援センターの業務受託終了・支援センターなごみ廃止について

平成26年4月、名古屋市16区に障害者基幹相談支援センター（以下「基幹センター」）が設置され、社会福祉法人等に、業務が委託されました。南区では、名古屋キリスト教社会館、親愛の里、ニコニコハウスと、3つの社会福祉法人でコンソーシアムをつくり、10年間、南区基幹センターの運営にあたってきました。

令和6年3月末、基幹センターの業務委託10年目が終了する時点で、社会福祉法人ニコニコハウスは、南区障害者基幹相談支援センターのコンソーシアムから離脱し、基幹センターの業務から離れることになりました。合わせて、基幹センターに併設する相談支援事業所「支援センターなごみ」も廃止しました。

南区基幹センターの業務を通して、得たことは沢山ありますが、私自身が一番大きいと感じるのは、様々な機関との連携で、支援力が高まる重要性です。基幹センターには、さまざまな障害（身体障害・知的障害・精神障害はもとより、発達障害、高次脳機能障害、難病など）、さまざまな年齢、さまざまな状況（厳しい家庭状況や、社会的に難しい状況など）の方の相談が、幅広く寄せられます。

特に、南区は、名古屋市16区の中で、もっとも高齢化率が高い区で、それだけに、「8050問題」「9060問題」にも、数多く直面しました。また、いわゆる困難ケースや虐待ケース、多くの課題を抱えたケースなどの相談も、日常的にあります。

そういった相談に対して、基幹センターだけで支援を考えるのではなく、行政はもちろん、数多くの心強い機関と協力することで、すぐには解決・軽減が難しい課題にも、糸口が見えたり、「納得して、時期を待つ」支援を行うことができました。

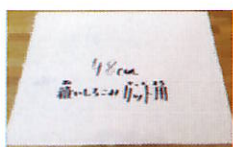
南区に、また名古屋市に数多くある心強い機関の力を、ニコニコハウスの今後の業務に活かしていきたいと思っています。

しぼり布巾が出来るまで

活動紹介

しぼり布巾が出来るまで、さまざまな工程があり、多くの所員さんがそれぞれの工程を担当していただき、一枚のしぼり布巾が出来上がります。今回はどのような工程を経て、どのような所員さんたちによって作られているかを紹介したいと思います。

線引き (48センチ)・・・布に幅48センチの亚克力板を使って線を引きます。



担当は私です



藤岡さん

布のカット・・・引いた線に沿って布をカットします。



担当は私です

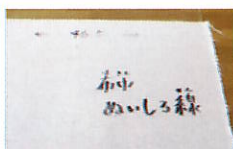


松井さん



上原さん

線引き (46.5センチ)・・・端から1.5センチに、46.5センチの亚克力板で縫い代線を引きます。



担当は私です



藤岡さん

縫い代のミシンかけ・・・布を二枚重ねて端から1.5センチの縫い代線をミシンをかけます。



担当は私です



塩原さん

アイロンかけと枠線引き・・・ミシンをかけた布を裏返してアイロンをかけ、1センチの枠線を引きます。



この作業は職員が担当しています

枠線のミシンかけ・・・1センチ幅の枠線にミシンをかけます。



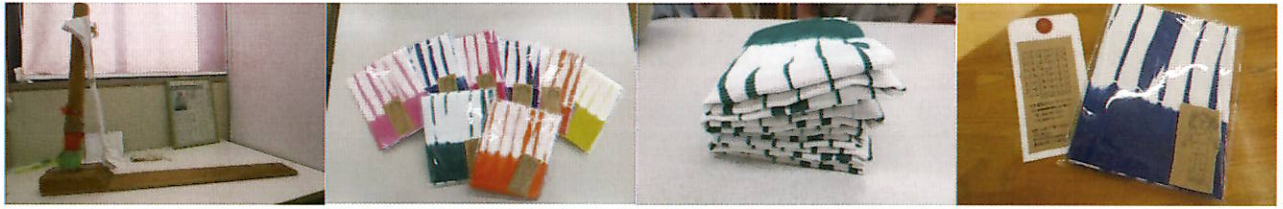
担当は私です



松井さん



塩原さん



縦線のミシンかけ・・・ 職員が中央に引いた 2 本線にミシンをかけ、布がズレないようにします。



担当は私です

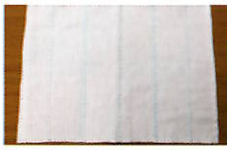


松井さん



塩原さん

点付け・・・ 布の上に穴の開いたアクリル板を乗せ、穴に消えるペンで点をつけているペンで点をつけていきます。



担当は私です



藤岡さん



久野さん



八田さん 他

平縫い・・・ 点を並縫いします。



担当は私です



久野さん



濱田さん



八田さん 多数

糸巻き・・・ 職員が揃えたヒダを、幅が等間隔になるよう糸できつく巻いていきます。



担当は私です



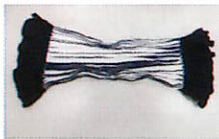
堀江さん

染め・・・ 糸で巻いた布を大きなボールを使って染めます。



この作業は職員が担当しています

糸ほどこ・・・ 染めた後、布に巻いてある糸をハサミで切ってほどこします。



担当は私です



久野さん



藤本さん

製品化・・・ 糸をほどこした布にアイロンをかけ、たたんで袋入れをして、しぼり布巾の完成です！！



担当は私です



上原さん



松井さん



全並さん

🌸ご協力いただける **ボランティアさん** を募集中です 🌸

ニコニコデイサービス鶴里(通所介護)では1日20名前後のご利用者様が通所されています。機能訓練を目的とした、外出・工作・おやつ作りなど様々なレクリエーションを日替わりで企画し、ご利用者様の日々の生活が活性化するように努めています。そこで、レクリエーションを中心にボランティア活動をしてくださる方を募集しています。

活動の内容

- ・ご利用者様のお話し相手(傾聴)
- ・工作やおやつ作りなどの補助
- ・外出イベントの補助
- ・音楽演奏、歌、踊り、マジックなどの演芸

※大正琴の演奏、田楽作り、ハンドマッサージ、お話し相手など多数の方が活躍されています。

- ◆活動日や時間帯は相談に応じます。
- ◆初めての方も大歓迎です。
- ◆デイサービスの見学や活動の体験も受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

〈お問い合わせ〉

ニコニコデイサービス鶴里 (TEL/052-825-0711 FAX/052-819-1577) 担当/平野・服部



いつもニコニコハウスの活動にご協力いただきありがとうございます。

ご寄付のお願い

- ・刺しゅう糸…ニコニコハウス鶴里(しぼり屋)
- ・石鹼……………ニコニコデイサービス鶴里

よろしく
お願いします

発行: 社会福祉法人ニコニコハウス

〒457-0021

名古屋市南区鶴里町3丁目40番地1

TEL 052-825-0711

FAX 052-819-1577

※印刷に不具合がありましたらお取替えいたします。



ホームページ QRコード
<http://www.nikoniko-house.jp>